

「ワークシート② 部屋を安全にしよう」

- 学習のねらい： 1. 自宅でよくいる部屋の安全対策をする必要と具体的な方法を知る。
2. 緊急地震速報について説明を受ける。

（活用例）

- ・ 地震発生時の屋内の被害に関する写真（本冊 P7）などを見せてから取り組ませる。
- ・ 家に持ち帰り、家族と相談して記入する（家族への周知も図る）。

（指導上のポイント）

◆例を参考に記入させる。
ヒント以外の被害軽減の方法として、

【家具の転倒防止】

寝る位置を工夫する。タンスなどの上に重い荷物を置かない。本棚の上の棚に辞書や図鑑などを置かない。照明器具の落下防止対策をする。突っ張り棒と転倒防止シートを併用する。

【窓ガラスの飛散防止】

割れにくい強化ガラスを使う。
カーテンを閉める。

【逃げ道の確保】

ドアのそばの家具について転倒防止対策を行う。

（指導上のポイント）

◆緊急地震速報器を整備している学校では、地震発生時に学校に流れる緊急地震速報の音（設置されていない場合、NHKなどが地震発生時に放送する緊急地震速報の音）を児童に聞かせ、さまざまな場所で、この音を聞いたなら、どのような行動を取ればよいかを考えさせる。

防災ノート(ワークシート②) 小学生(高学年)版

部屋を安全にしよう

下の①に、例のようにあなたがよくいる部屋の絵を描いてください。また、②に、地震がおきてもケガをしないようにするにはどうすればよいか、ヒントを見て書いてみましょう。

下のようなポイントに注意してください。

たおれてくる家具はないか？ われたガラスがとびぢらないか？ ドアは開くか？

例

① ※上記の例を参考に記入させる。

②

ヒント

部屋を安全にする方法

金具でとめる

ベルトでとめる

フィルムをはる

地震が安全になったらお家の人に知らせつけてもらおう。

地震のゆれを感じたり、緊急地震速報を見たり聞いたりしたときは…

あわてず、自分の身を守ろう!